

芝生専用肥料カタログ 2018

緩効性肥料 (メチレン尿素・コーティング)

液肥 (粉末・リキッド)

アミノ酸入り液肥

微量元素剤

土壌浸透剤

肥料散布機



ICLスペシャリティー ファーティライザーズ社

株式会社 **ハイポネックスジャパン**






<http://www.hyponex.co.jp>

ICL社 芝生専用肥料とは？

ICLスペシャリティー ファーティライザーズ社は、ヨーロッパを拠点に芝生専用肥料をはじめ緑化・花卉・野菜・果樹・穀類などの農業用肥料を世界に供給している会社です。
芝生専用肥料はアメリカのスコッツ社の時代から70年以上もの歴史を持ち、現在も世界中のゴルフ場、競技場で使用されています。
スコッツ社からヨーロッパに販売移行後はヨーロッパの低温、低日照や高温、乾燥の悪条件に対応した商品開発を行っています。

ICLテクノロジー ICLの技術で皆様へ利益を！







ICLテクノロジーによって、芝生が必要としている成分にあわせて効率的で安全で一貫した肥料溶出を目指しています。
無駄な刈カスを少なくし、より良い品質をアップさせる環境にやさしい技術です。
カタログには、それぞれの技術を取り入れた商品にはそのアイコンを記載しています。

	メチレン尿素技術	緩効性のメチレン尿素を含み、施肥後の芝生の葉やけが起こりにくく芝の波打つような生育をさせません極微細粒で一粒毎に NPK と微量元素成分が均一に含まれます。 極細粒肥料: グリーン用・ティー・競技場用など
	シルク技術	カリとケイ酸が約8週以上ゆっくり効き続けます。 窒素と共にカリが効き続けることによってバランスの良い肥効が続きます。 ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。 極細粒肥料: グリーン用・ティー・競技場用など
	ポリS技術	尿素を特殊ポリマーとイオウを2重コーティングしたICL社の特許技術。 施肥直後の過剰な生育が無くマット化を防ぎ、長期間(2~3 ヶ月)効き続けます。土壌水分、pHの影響を受けません。 ポリSコーティング肥料: ティー、フェアウェイ、競技場
	ペイス技術	NPK を樹脂コーティングし、Nと共にPKも緩効性で長期間効き続けます土壌水分、pHの影響を受けません。 シーズンを通し、芝生を密にし、健全な生育を促します。 ポリSコーティング+樹脂コーティング肥料: ティー、フェアウェイ、競技場
	ティー マックス T MAX技術	浸透剤やキレート剤等が含まれる為、葉面からの養分浸透力を高めて葉面吸収効率が上がります。 土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率良く吸収できます。 液肥(粉末・リキッド)、アミノ酸入り液肥、リキッドタイプ鉄剤、カルシウム液肥



プロフェッショナル向け 芝生専用肥料一覧

グリーン用細粒肥料 (ティー、競技場・公園・校庭緑化)

商品名	重量	商品特性	粒径 mm(成分混合) 使用刈高	その他 成分	窒素形態(%)
GTグリーンズ 22-5-11 	20kg	多種類の微量要素を含む総合栄養素入り肥料です。 年間施肥の基本肥料としてお勧めします。	0.7～1.4(ホモ) 6mm まで 6mm 以上	MgO S Cu Fe Mn Mo Zn Si	3.0 アンモニア性窒素 7.6 尿素 11.5 緩効性メチレン尿素
GT N・K 19-0-19 	20kg	多種類の微量要素を含む総合栄養素入り肥料です。 年間施肥の基本肥料としてお勧めします。 リン酸を含み、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます	0.7～1.4(ホモ) 6mm まで 6mm 以上	MgO S Cu Fe Mn Mo Zn Si	9.9 尿素 9.1 緩効性メチレン尿素
GTスーパーグリーン 16-0-16 	20kg	速効性の窒素と鉄、マンガンの相乗効果により葉色を濃く、鮮やかにします。 春先など低温時の施肥もお勧めします。	0.7～1.4(ホモ) 6mm まで 6mm 以上	S Fe Mn Si	7.9 アンモニア性窒素 2.4 尿素 5.7 緩効性メチレン尿素
GTスターター 18-22-5 	20kg	新根が発生する春の施肥、播種時、ティーやフェアウェイ、競技場へのオーバーシード、張り芝時の施肥に最適です。根量を増やし、活着を促進させます。	0.7～1.4(ホモ) 6mm まで 6mm 以上	S Si	6.4 アンモニア性窒素 2.7 尿素 8.9 緩効性メチレン尿素
GTハイKグリーン 15-0-26 	20kg	高いカリ成分により耐暑、耐乾、耐寒、耐踏圧に対して丈夫な芝生を作ります。特にストレスがかかる前の施肥がお勧めです(夏前・冬前など)	0.7～1.4(ホモ) 6mm まで 6mm 以上	S Fe Si	7.2 尿素 7.8 緩効性メチレン尿素
GTKステップ 6-0-27 	20kg	高いカリ成分により耐暑、耐乾、耐寒、耐踏圧に対して丈夫な芝生を作ります。少ない窒素でカリを多く与えることが出来ます。微量要素も含みます。	0.7～1.4(ホモ) 6mm まで 6mm 以上	MgO S Cu Fe Mn Mo Zn Si	0.7 アンモニア性窒素 2.5 尿素 2.8 緩効性メチレン尿素
ステップ ハイマグ 総合微量要素剤	20kg	微量要素の不足、欠乏を解消し、特に新地の芝生造成時の微量要素補給に便利です	0.7～2.0(バルク) 6mm まで 6mm 以上	MgO S Cu Fe Mn Zn	—




液肥・鉄剤・アミノ酸入り海藻エキス・カルシウム入り液肥

商品名	形態	重量・容量	商品特性	その他 成分(%)	窒素形態(%)
スポーツマスター スプリング&サマー 28-5-19 	粉末	15kg	窒素、リン酸、カリをはじめ各種微量要素が芝生の生育に適するようバランス良く配合されており、液肥の標準肥料としてお勧めします。	Mn0.06 B0.02 Mo0.01 Zn0.016 Cu0.016 Fe 0.13	5.6 硝酸性窒素 1.0 アンモニア性窒素 21.4 尿素性窒素
スポーツマスター ハイン 35-0-14 	粉末	15kg	窒素を多く含み、窒素コストが安い肥料です。 キレート鉄を含み、葉色を鮮やかにします。	Fe 0.13	4.3 硝酸性窒素 30.7 尿素性窒素
スポーツマスター ハイK 15-0-43 	粉末	15kg	カリを多く含み、生長はコンパクトになり、丈夫で頑強な芝生にそだてます。 キレート鉄を含み、葉色を鮮やかにします。	Fe 0.13	12.7 硝酸性窒素 2.3 尿素性窒素
スポーツマスター シーマックス(海藻) 4-0-15 	粉末	1.0kg 又は 8kg(1kg×8)	原料は海藻由来で、各種 アミノ酸 、アルギン酸、糖類、ビタミン、微量要素、植物ホルモンなどを豊富に含みます。根の伸長促進、高温時などのストレス抵抗性を高めます。	Mn0.06 B 0.02 Mo0.01 Zn0.016 Cu0.016 Fe0.13	4.0 アンモニア性窒素
グリーンマスター リキッドハイン 25-0-0 	原液	20ℓ (10ℓ×2)	窒素を多く含み、窒素コストが安い肥料です。 窒素とマグネシウムにより、素早く葉色を鮮やかにします。微量要素を含み、健全な生育に。	MgO2.0 Mn0.01 B 0.01 Mo0.001 Zn0.004 Cu0.004	7.3 硝酸性窒素 5.9 アンモニア性窒素 11.8 尿素性窒素
グリーンマスター リキッド スプリング&サマー 12-4-6 	原液	20ℓ (10ℓ×2)	芝生にバランスの良い NPK 比で、液肥の標準肥料として使用できます。 微量要素を含み、健全な生育を促します。	Mn0.01 B 0.01 Mo0.001 Zn0.004 Cu0.004	11.2 尿素性窒素
グリーンマスター リキッド Fe6.3 	原液 鉄剤	20ℓ (10ℓ×2)	施用後、3時間以内で葉色が濃くなります。 無駄に生育をさせずに葉色を濃くします。	Fe 6.3	—
グリーンマスター カルシウムブースター 8-0-0 	原液 Ca 液肥	20ℓ (10ℓ×2)	カルシウムの補給によって細胞壁が強化され、根の伸長を助けます。速効性の窒素によって素早く葉色を鮮やかにします。	CaO 9.0 Mo0.001 Zn0.004 Cu0.004	7.0 硝酸性窒素 1.0 アンモニア性窒素

土壌浸透剤

H2プロ リキッド	20ℓ 5ℓ×4	新しいタイプの土壌浸透剤で、土壌水分の保湿と共に浸透を良くし、芝生の水分ストレスを軽減します。 ドライスポットの予防と改善に効果があります。定期的な施用をお勧めします。
------------------	-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

フェアウェイ用粒状肥料 (競技場・公園・校庭緑化)

商品名	重量	商品特性	肥効期間	その他成分 (%)	粒径 mm(成分混合) 使用刈高	窒素形態 (%)
SBポリSウレア 31-5-7 	25kg	窒素成分が多いため、施肥量が少なく済み施肥労力の軽減が可能です。	2～3ヶ月	S 8.8	1.8～4.0(バルク) 12mm 以上	1.7 アンモニア性窒素 29.3 尿素 (60%コーティングされたN)
SBポリS細粒 24-5-13 	25kg	2種類のコーティングにより、窒素、リン酸、カリ共に緩効性成分を含みます。 芝生が動き出す春先から使用でき、低温時の葉色効果に優れます。	3ヶ月	S 6.7	0.85～2.0(バルク) 6mm 以上	2.0 硝酸性窒素 3.0 アンモニア性窒素 19.0 尿素 (79%コーティングされたN)
ポリSプロターフ 21-5-6 	25kg	肥料価格が安い、低コスト肥料です。 細粒で、ティーや競技場など多くの芝地に使用できます。Mg、Ca 入り。	2～3ヶ月	S 10.0 CaO 2.5 MgO 2.5	1.3～2.5(バルク) 6mm 以上	2.0 アンモニア性窒素 16.0 尿素 (25%コーティングされたN)



GT グリーنز 22-5-11 + 2MgO + 微量元素

高品質管理の芝草に使用するために開発された、メチレン尿素(緩効性窒素)を含んだ粒状肥料です。
緩効性のカリを含みケイ酸と共に約8週間以上ゆっくり効き続けます。極細粒の1粒毎に各成分が均一に含まれます。
窒素と共にカリが効き続ける為、バランスの良い肥効が続き、ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。

【登録保証値】	21-5-10	
● 窒素全量	21.0 %
内アンモニア性窒素	2.5 %
● 可溶性りん酸	5.0 %
内水溶性りん酸	4.2 %
● く溶性加里	10.0 %
内水溶性加里	9.7 %
● く溶性苦土	1.2 %
内水溶性苦土	1.1 %
● 水溶性マンガ	0.100 %

正味重量	20kg
粒径	0.7~1.4mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 2,000~666 m ²
肥効期間	6~8週間 (施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります) 例:グリーン施肥:10g/m ² 施肥で 3~4 週間目安(窒素)

【欧州登録保証値】	22-5-11	
窒素全量	22.0%
内アンモニア性窒素	3.0%
尿素	7.6%
メチレン尿素	11.5%
可溶性りん酸(P ₂ O ₅)	5.0 %
水溶性加里(K ₂ O)	11.0 %
マグネシウム(MgO)	2.0 %
マンガン(Mn)	0.10 %
鉄(Fe)	0.50 %
銅(Cu)	0.02 %
亜鉛(Zn)	0.020 %
モリブデン(Mo)	0.001%
イオウ(S)	5.7 %
ケイ酸(Si)	1.5 %

【特長】

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施肥後の葉やけに対する安全性の高い肥料です。(使用方法、施肥量の欄をご参照ください)
3. 芝生の成分要求に適応した4:1:2の成分比で、年間施肥の基本肥料としてお勧めです。
4. 多種類の微量元素を含む総合栄養素入り肥料で芝生を健康に育てます。
5. マグネシウムを含み、葉色を鮮やかにします。
6. 特に春から夏にかけての施肥で芝生の生育を旺盛にします。
7. 臭いはほとんど無く、施肥後べとつきにくい肥料です。

【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 施肥後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている肥料を落として、土になじませてください。
これは、葉焼けと芝刈機による肥料の拾い上げを防ぐ為です。
3. **乾いた葉へ施肥してください。**濡れた葉に施肥すると鉄による染みが発生する事があります。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施肥は避けてください。
5. 施肥後約3日間は、肥料粒子が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 地温が10℃以下になると窒素の溶出は著しく少なくなります。
7. 道路、コンクリートや衣服などに付着又はこぼれた場合は直ちに掃き取り、除去してください。
放置しておくと染みの原因になります。

【施肥をおすすめする時期】 芝生の生育期間中の標準肥料としてお勧め。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	りん酸	カリ	
少量施肥量	10.0g	2.20g	0.50	1.10g	2,000m ²
推奨施肥量	20.0g	4.40g	1.00	2.20g	1,000m ²
推奨施肥量	25.0g	5.50g	1.25	2.75g	800m ²
増量施肥量	30.0g	6.60g	1.50	3.30g	666m ²

注意:施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。





エヌ ケー

GT N・K

19-0-19 + 2MgO + 微量元素

高品質管理の芝草に使用するために開発された、メチレン尿素(緩効性窒素)を含んだ粒状肥料です。
緩効性のカリを含みケイ酸と共に約8週間以上ゆっくり効き続けます。極細粒の1粒毎に各成分が均一に含まれます。
窒素と共にカリが効き続ける為、バランスの良い肥効が続き、ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。

【登録保証値】	18-0-18	
● 窒素全量	18.0 %
● <溶性加里	18.0 %
内水溶性加里	17.0 %
● <溶性苦土	1.5 %
内水溶性苦土	1.2 %
● 水溶性マンガン	0.030 %

正味重量	20kg
粒径	0.7~1.4mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 2,000~666 m ²
肥効期間	6~8週間

(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)
例:グリーン施肥:10g/m²施肥で3~4週間目安(窒素)

【欧州登録保証値】	19-0-19	
窒素全量	19.0%
尿素	9.9%
メチレン尿素	9.1%
水溶性加里(K ₂ O)	19.0 %
マグネシウム(MgO)	2.0 %
マンガン(Mn)	0.10 %
鉄(Fe)	0.50 %
銅(Cu)	0.02 %
亜鉛(Zn)	0.020 %
モリブデン(Mo)	0.001%
イオウ(S)	6.0 %
ケイ酸(Si)	2.6 %

【特長】

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施肥後の葉やけに対する安全性の高い肥料です。(使用方法、施肥量の欄をご参照ください)
3. 窒素とカリが同等に含まれており、春から秋にかけて使用できます。
4. 多種類の微量元素を含む総合栄養素入り肥料で芝生を健康に育てます。
5. マグネシウムを含み、葉色を鮮やかにします。
6. 特に春から夏にかけての施肥で芝生の生育を旺盛にします。
7. リン酸を含まないので、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます。
8. 臭いはほとんど無く、施肥後べとつきにくい肥料です。

【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 施肥後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている肥料を落として、土になじませてください。
これは、葉焼けと芝刈機による肥料の拾い上げを防ぐ為です。
3. **乾いた葉へ施肥してください。**濡れた葉に施肥すると鉄による染みが発生する事があります。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施肥は避けてください。
5. 施肥後約3日間は、肥料粒子が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 地温が10℃以下になると窒素の溶出は著しく少なくなります。
7. 道路、コンクリートや衣服などに付着又はこぼれた場合は直ちに掃き取り、除去してください。
放置しておくと染みの原因になります。

【施肥をおすすめする時期】 芝生の生育期間中の標準肥料としてお勧め。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量 (m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	リン酸	カリ	
少量施肥量	10.0g	1.90g	—	1.90g	2,000m ²
推奨施肥量	20.0g	3.80g	—	3.80g	1,000m ²
推奨施肥量	25.0g	4.75g	—	4.75g	800m ²
増量施肥量	30.0g	5.70g	—	5.70g	666m ²

注意: 施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。





GT スーパーグリーン 16-0-16+ Fe+Mn

高品質管理の芝草に使用するために開発された、メチレン尿素(緩効性窒素)を含んだ粒状肥料です。
緩効性のカリを含みケイ酸と共に約8週間以上ゆっくり効き続けます。極細粒の1粒毎に各成分が均一に含まれます。
窒素と共にカリが効き続ける為、バランスの良い肥効が続き、ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。

【登録保証値】	15-0-15
● 窒素全量	15.0 %
内アンモニア性窒素	6.6 %
● 水溶性加里	15.0 %
内水溶性加里	14.6 %
● 水溶性マンガン	0.300%
● 水溶性ホウ素	0.005%

正味重量	20kg
粒径	0.7~1.4mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 2,000~666 m ²
肥効期間	6~8週間
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	
例:グリーン施肥:10g/m ² 施肥で3~4週間目安(窒素)	

【欧州登録保証値】	16-0-16
窒素全量	16.0%
内アンモニア性窒素	7.9%
尿素	2.4%
メチレン尿素	5.7%
水溶性加里(K ₂ O)	16.0 %
マンガン(Mn)	0.30 %
鉄(Fe)	1.00 %
イオウ(S)	14.9 %
ケイ酸(Si)	1.5 %

【特長】

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施肥後の葉やけに対する安全性の高い肥料です。(使用方法、施肥量の欄をご参照ください)
3. 速効性の窒素と鉄、マンガンの相乗効果により、春先など低温期の葉色の向上に優れます。
4. カリの効果で丈夫な生育を促します。
5. リン酸を含まないので、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます。
6. 臭いはほとんど無く、施肥後べとつきにくい肥料です。



【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 施肥後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている肥料を落として、土になじませてください。
これは、葉焼けと芝刈機による肥料の拾い上げを防ぐ為です。
3. **乾いた葉へ施肥してください。**濡れた葉に施肥すると鉄による染みが発生する事があります。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施肥は避けてください。
5. 施肥後約3日間は、肥料粒子が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 地温が10℃以下になると窒素の溶出は著しく少なくなります。
7. 道路、コンクリートや衣服などに付着又はこぼれた場合は直ちに掃き取り、除去してください。
放置しておくと染みの原因になります。

【施肥をおすすめする時期】 芝生の生育スタートの春先や晩秋の低温期がお勧め。葉色は特に鮮やかに。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎			◎	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	リン酸	カリ	
少量施肥量	10.0g	1.60g	0.00	1.60g	2,000m ²
推奨施肥量	20.0g	3.20g	0.00	3.20g	1,000m ²
推奨施肥量	25.0g	4.00g	0.00	4.00g	800m ²
増量施肥量	30.0g	4.80g	0.00	4.80g	666m ²

注意: 施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



GT スターター 18-22-5

高品質管理の芝草に使用するために開発された、メチレン尿素(緩効性窒素)を含んだ粒状肥料です。
緩効性のカリを含みケイ酸と共に約8週間以上ゆっくり効き続けます。極細粒の1粒毎に各成分が均一に含まれます。
窒素と共にカリが効き続ける為、バランスの良い肥効が続き、ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。

【登録保証値】	18-20-5	
● 窒素全量	18.0 %
内アンモニア性窒素	5.0 %
● 可溶性りん酸	20.0 %
内水溶性りん酸	18.0 %
● く溶性加里	5.0 %
内水溶性加里	4.8 %
● く溶性苦土	1.0 %
● 水溶性マンガン	0.010 %

【欧州登録保証値】	18-22-5	
窒素全量	18.0%
アンモニア性窒素	6.4%
尿素	2.7%
メチレン尿素	8.9%
可溶性りん酸(P ₂ O ₅)	22.0 %
水溶性加里(K ₂ O)	5.0 %
イオウ(S)	3.1 %
ケイ酸(Si)	0.9 %

正味重量	20kg
粒径	0.7~1.4mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 2,000~666 m ²
肥効期間	6~8週間
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	
例:グリーン施肥:10g/m ² 施肥で 3~4 週間目安(窒素)	



【特長】

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施肥後の葉やけに対する安全性の高い肥料です。(使用方法、施肥量の欄をご参照ください)
3. 芝生の播種時、ティー、フェアウェイや競技場のオーバーシード時、張芝時、芝の植付け時の施肥に最適です。
活着を促進させると共に根量を増やし、生育を旺盛にします。
4. 新根が発生する春の施肥がおすすめです。
素早い肥効により、芝生の更新作業(コアリングなど)前後の施肥で芝生の回復を早めます。
5. 臭いはほとんど無く、施肥後べとつきにくい肥料です。

【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 施肥後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている肥料を落として、土になじませてください。
これは、葉焼けと芝刈機による肥料の拾い上げを防ぐ為です。
3. 乾いた葉へ施肥してください。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施肥は避けてください。
5. 施肥後約3日間は、肥料粒子が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 地温が10℃以下になると窒素の溶出は著しく少なくなります。

【施肥をおすすめする時期】 更新作業時、張芝時(芝の生育気温時)、芝播種時、芝の植付時

春	梅雨	夏	秋・晩秋	冬
◎ ①更新作業(コアリング)前後 ②張芝、芝植付時	◎ ①張芝、芝植付時		◎ ①更新作業(コアリング)前後 ②芝播種(オーバーシード時)	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	りん酸	カリ	
少量施肥量	10.0g	1.80g	2.20g	0.50g	2,000m ²
推奨施肥量	20.0g	3.60g	4.40g	1.00g	1,000m ²
推奨施肥量	25.0g	4.50g	5.50g	1.25g	800m ²
増量施肥量	30.0g	5.40g	6.60g	1.50g	666m ²

注意:施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



GT ハイKグリーン 15-0-26+ Fe

高品質管理の芝草に使用するために開発された、メチレン尿素(緩効性窒素)を含んだ粒状肥料です。
緩効性のカリを含みケイ酸と共に約8週間以上ゆっくり効き続けます。極細粒の1粒毎に各成分が均一に含まれます。
窒素と共にカリが効き続ける為、バランスの良い肥効が続き、ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。

【登録保証値】	14-0-25	
● 窒素全量	14.0 %
内アンモニア性窒素	2.5 %
● 水溶性加里	10.0 %
内水溶性加里	9.7 %

【欧州登録保証値】	15-0-26	
窒素全量	15.0%
尿素	7.2%
メチレン尿素	7.8%
水溶性加里(K ₂ O)	26.0 %
鉄(Fe)	1.00 %
イオウ(S)	14.9 %
ケイ酸(Si)	4.0 %

正味重量	20kg
粒径	0.7~1.4mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 2,000~666 m ²
肥効期間	6~8週間
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	
例:グリーン施肥:10g/m ² 施肥で 3~4 週間目安(窒素)	



【特長】

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施肥後の葉やけに対する安全性の高い肥料です。(使用方法、施肥量の欄をご参照ください)
3. 窒素の約50%が緩効性のメチレン尿素的な為、穏やかに効き続け、無駄な生育を最小限にします。
4. カリを多く含む為、丈夫な生育を促します。特にストレスがかかる前の施肥がお勧めです(夏前・晩秋)
5. リン酸を含まないので、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます。
6. 鉄を含み、葉色の向上を促します。
7. 臭いはほとんど無く、施肥後べとつきにくい肥料です。

【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 施肥後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている肥料を落として、土になじませてください。
これは、葉焼けと芝刈機による肥料の拾い上げを防ぐ為です。
3. **乾いた葉へ施肥してください。**濡れた葉に施肥すると鉄による染みが発生する事があります。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施肥は避けてください。
5. 施肥後約3日間は、肥料粒子が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 地温が10℃以下になると窒素の溶出は著しく少なくなります。
7. 道路、コンクリートや衣服などに付着又はこぼれた場合は直ちに掃き取り、除去してください。
放置しておくと染みの原因になります。

【施肥をおすすめする時期】 芝生にストレスがかかる前の施肥がお勧め。

春	梅雨	夏	秋・晩秋	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	リン酸	カリ	
少量施肥量	10.0g	1.50g	0.00	2.60g	2,000m ²
推奨施肥量	20.0g	3.00g	0.00	5.20g	1,000m ²
推奨施肥量	25.0g	5.50g	0.00	6.50g	800m ²
増量施肥量	30.0g	6.60g	0.00	7.80g	666m ²

注意: 施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



GT Kステップ 6-0-27 + 2MgO + 微量元素

高品質管理の芝草に使用するために開発された、メチレン尿素(緩効性窒素)を含んだ粒状肥料です。
緩効性のカリを含みケイ酸と共に約8週間以上ゆっくり効き続けます。極細粒の1粒毎に各成分が均一に含まれます。
窒素と共にカリが効き続ける為、バランスの良い肥効が続き、ケイ酸によって細胞を強くし耐病性を強化します。

[登録保証値]	6-0-27	
● 窒素全量	6.0 %
内アンモニア性窒素	1.0 %
● <溶性加里	26.0 %
内水溶性加里	24.0 %
● <溶性苦土	1.0 %
● 水溶性マンガ	0.020 %

正味重量	20kg
粒径	0.7~1.4mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 2,000~666 m ²
肥効期間	6~8週間
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	
例:グリーン施肥:10g/m ² 施肥で 3~4 週間目安(窒素)	

[欧州登録保証値]	6-0-27	
窒素全量	6.0%
内アンモニア性窒素	0.7%
尿素	2.5%
メチレン尿素	2.8%
水溶性加里(K ₂ O)	27.0 %
マグネシウム(MgO)	2.0 %
マンガ(Mn)	0.10 %
鉄(Fe)	0.70 %
銅(Cu)	0.020 %
亜鉛(Zn)	0.020 %
モリブデン(Mo)	0.001%
イオウ(S)	9.4 %
ケイ酸(Si)	3.9 %

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施肥後の葉やけに対する安全性の高い肥料です。(使用方法、施肥量の欄をご参照ください)
3. カリを多く含む為、丈夫な生育を促します。ストレスがかかる前の施肥がお勧めです(夏前・晩秋)
4. 窒素は控え目でカリが多い為、芝はコンパクトで硬く生育します。
5. 多種類の微量元素を含む為、微量元素欠乏を防ぐと共に芝生を健全に生育させます。
6. リン酸を含まないので、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます。
7. マグネシウムを含み、葉色効果を高めます。
8. 臭いはほとんど無く、施肥後べとつきにくい肥料です。



[使用方法]

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 施肥後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている肥料を落として、土になじませてください。
これは、葉焼けと芝刈機による肥料の拾い上げを防ぐ為です。
3. **乾いた葉へ施肥してください。**濡れた葉に施肥すると鉄による染みが発生する事があります。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施肥は避けてください。
5. 施肥後約3日間は、肥料粒子が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 地温が10℃以下になると窒素の溶出は著しく少なくなります。
7. 道路、コンクリートや衣服などに付着又はこぼれた場合は直ちに掃き取り、除去してください。
放置しておくと染みの原因になります。

[施肥をおすすめする時期] 芝生にストレスがかかる前の施肥がお勧め。特に夏前的高カリ、低窒素、微量元素補給に。

春	梅雨	夏	秋(晩秋)	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎ コウライ・野芝・ティフトン	◎	

[施肥量] ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	リン酸	カリ	
少量施肥量	10.0g	0.60g	0.00	2.70g	2,000m ²
推奨施肥量	20.0g	1.20g	0.00	5.40g	1,000m ²
推奨施肥量	25.0g	1.50g	0.00	6.75g	800m ²
増量施肥量	30.0g	1.80g	0.00	8.10g	666m ²

注意: 施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。

ステップハイマグ

総合微量元素剤

芝生に必要な微量元素を含み、健全な芝生の生育を促します。

細粒状の粒剤で、微量元素の不足を容易に補う事ができます。

正味重量	20kg
粒径	0.7～2.0mm
使用可能刈高	刈高 6mm までの芝地 刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 1,810～2,850 m ²
効用期間	約6週間 (温度、踏圧、施用量、芝刈高などにより異なります)



[欧州登録保証値]		
マグネシウム(MgO)	19.9%
マンガン(Mn)	3.0%
内水溶性マンガン	1.2%
鉄(Fe)	8.0%
内水溶性鉄	6.0 %
銅(Cu)	0.5 %
亜鉛(Zn)	1.0 %
内水溶性亜鉛	1.0 %
イオウ(S)	7.9 %

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 芝生に必要なマグネシウム、マンガン、鉄、銅、亜鉛、イオウを含みます。
3. 効果は施用直後から約6週間持続します(温度、踏圧、施用量、芝刈高などにより異なります)
4. マグネシウムを多く含み(19.9%)、鉄、マンガンとの働きで葉色を鮮やかにします。
5. 新しく造成されるグリーン、ティー、競技場、校庭緑化などの芝地への微量元素補給に便利です。
6. 微量元素が不足しがちなサンドグリーンなど、既存の芝地への微量元素の施用に最適です。

[使用方法]

1. 施用は、芝生の上に均一にばらまいてください。肥料散布機を使用すると便利です。
2. 施用後すぐにたっぷり水やり(5mm 以上)をして、葉についている粒を落として、土になじませてください。
これは、微量元素による染みと芝刈機による粒の拾い上げを防ぐ為です。
3. **乾いた葉へ施用してください。**濡れた葉に施用すると葉に黒っぽい染みや、施用直後に芝地に踏み込むと足跡が発生しやすくなります。もし、染みが発生しても生育には支障ありません。
4. 凍りつくような厳寒期や高温早ばつの時期の施用は避けてください。
5. 施用後約3日間は、粒が分散するまでバーチカルやグルーミングを遅らせてください。
6. 道路、コンクリートや衣服などに付着又はこぼれた場合は直ちに掃き取り、除去してください。
放置しておくと染みの原因になります。
7. 再度施用が必要な場合には、6週間の間隔を設けてください。

[施用をおすすめる時期] 芝生の生育期間中いつでも使用できます。特に春と秋の更新作業の時期の使用はお勧め。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎	○	△	◎	
更新作業(コアリング)前後			更新作業(コアリング)前後	

[施用量] ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。

	施用量 (m ² 当り)	1袋当りの 施用面積
少量施用量	7.0g	2,850m ²
増量施用量	11.0g	1,810m ²

注意: 施用量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。
施用量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



ポリS ウレア 31-5-7

尿素を特殊ポリマーとイオウで2重コーティングした「ポリSコーティング」と窒素、リン酸、カリの3要素を「樹脂コーティング」した2種類のコーティングを混合した緩効性肥料です。

土壌水分、pHの影響を受けにくく、肥料効果が2～3ヶ月持続します。

【登録保証値】	29-5-5.5	
● 窒素全量	29.0 %
内アンモニア性窒素	1.0 %
● 可溶性りん酸	5.0 %
内水溶性りん酸	4.3 %
● 水溶性加里	6.0 %
● 水溶性苦土	5.5 %

【欧州登録保証値】	31-5-7	
窒素全量	31.0%
内アンモニア性窒素	1.7%
尿素	29.3%
水溶性りん酸 (P ₂ O ₅)	5.0 %
水溶性加里 (K ₂ O)	7.0 %
イオウ(S)	10.0 %

全窒素の60%がコーティングされた窒素

正味重量	25kg
粒径	1.8～4.0mm
使用可能刈高	刈高 12mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 1,666～625 m ²
肥効期間	2～3ヶ月
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	

【特長】

1. ゴルフ場のフェアウェイ、ラフ、ティーや競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 全窒素の60%が2種類のコーティングによる緩効性肥料で、窒素、リン酸、カリの溶出が2～3ヶ月持続します。葉色を維持し、均一な生育を促します。
3. 素早い肥料効果により、施肥直後の葉色を濃くし、芝生が動き出す春先からの使用に適します。
4. 施肥後の葉焼けに対する安全性の高い肥料です。
5. 臭いは少なくサラッとした肥料で施肥後もべつつかず、ゴルフや他の競技への影響が少ない肥料です。

【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 乾いた葉へ施肥してください。
3. 施肥後に散水すると、より早い肥料効果が得られます。
4. 凍りつくような厳寒期や高温干ばつ期の施肥は避けてください。
5. 肥料の割れを防ぐため、施肥直後のエアレーション、コアリング、スライシングなどの作業は行わないでください。



【施肥をおすすめする時期】 芝生の生育期間中の標準肥料としてお勧め。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	○ コウライ・野芝・ティフトン	○	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	リン酸	カリ	
少量施肥量	15.0g	4.65g	0.75g	1.05g	1,666m ²
少量施肥量	17.5g	5.42g	0.87g	1.22g	1,428m ²
推奨施肥量	20.0g	6.20g	1.00g	1.40g	1,250m ²
推奨施肥量	30.0g	9.30g	1.50g	2.10g	833m ²
増量施肥量	40.0g	12.40g	2.00g	2.80g	625m ²

注意: 少量施肥量で施肥する場合、粒ムラが発生する可能性がありますので一度お試しのうえご使用ください。

施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。

施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



ポリS 細粒 24-5-13

尿素を特殊ポリマーとイオウで2重コーティングした「ポリSコーティング」と窒素、リン酸、カリの3要素を「樹脂コーティング」した2種類のコーティングを混合した緩効性肥料です。土壌水分、pHの影響を受けにくく、肥料効果が約3ヶ月持続します。細粒で、洋芝のフェアウェイなど、幅広く多くの芝地にお使いいただけます。

【登録保証値】	21-5-13	
● 窒素全量	21.0 %
内アンモニア性窒素	3.0 %
硝酸性窒素	1.5 %
● 可溶性りん酸	5.0 %
内水溶性りん酸	4.2 %
● 水溶性加里	13.0 %

【欧州登録保証値】	24-5-13	
窒素全量	24.0%
内アンモニア性窒素	3.0%
硝酸性窒素	2.0%
尿素	19.0 %
水溶性りん酸 (P ₂ O ₅)	5.0 %
水溶性加里 (K ₂ O)	13.0 %
イオウ(S)	6.7 %

全窒素の79%がコーティングされた窒素
全加里の27%がコーティングされた加里

正味重量	25kg
粒径	0.85~2.0mm
使用可能刈高	刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 1,666~714 m ²
肥効期間	約3ヶ月
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	

【特長】

1. ゴルフ場のフェアウェイ(コウライ・洋芝)、ラフ、ティー、アプローチや競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 2種類のコーティングの働きで、継続的に窒素、りん酸、加里の溶出が約3ヶ月持続します。この間、均一な生育と、鮮やかな葉色を持続させます。
3. 素早い肥料効果により、施肥直後の葉色を濃くし、芝生が動き出す春先からの使用に適します。
4. 施肥後の葉焼けに対する安全性の高い肥料です。
5. 臭いは少なくサラッとした肥料で施肥後もべつつかず、ゴルフや他の競技への影響が少ない肥料です。



【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 乾いた葉へ施肥してください。
3. 施肥後に散水すると、より早い肥料効果が得られます。
4. 凍りつくような厳寒期や高温干ばつ期の施肥は避けてください。
5. 肥料の割れを防ぐため、施肥直後のエアレーション、コアリング、スライシングなどの作業は行わないでください。

【施肥をおすすめする時期】 芝生の生育期間中の標準肥料としてお勧め。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	○ コウライ・野芝・ティフトン	○	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	りん酸	加里	
少量施肥量	15.0g	3.60g	0.75g	1.95g	1,666m ²
少量施肥量	17.5g	4.20g	0.87g	2.27g	1,428m ²
推奨施肥量	20.0g	4.80g	1.00g	2.60g	1,250m ²
推奨施肥量	25.0g	6.00g	1.25g	3.25g	1,000m ²
増量施肥量	30.0g	7.20g	1.50g	3.90g	833m ²
増量施肥量	35.0g	8.40g	1.75g	4.55g	714m ²

注意: 少量施肥量で施肥する場合、粒ムラが発生する可能性がありますので一度お試しのうえお使いください。

施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。

施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



ポリS プロターフ 21-5-6+ 2.5CaO + 2.5MgO

尿素を特殊ポリマーとイオウで2重コーティングした「ポリSコーティング」を含む緩効性肥料です。

土壌水分、pHの影響を受けにくく、肥料効果が2～3ヶ月持続します。

細粒のコーティング入り肥料で、洋芝のフェアウェイなど、幅広く多くの芝地にお使いいただけます。

【登録保証値】	21-5-6	
● 窒素全量	21.0 %
内アンモニア性窒素	1.1 %
● 可溶性りん酸	5.0 %
内水溶性りん酸	4.8 %
● 水溶性加里	6.0 %
● 水溶性苦土	2.0 %

正味重量	25kg
粒径	1.3～2.5mm
使用可能刈高	刈高 6mm 以上の芝地
施肥面積	1袋 約 1,666～714 m ²
肥効期間	2～3ヶ月
(施肥量、温度、踏圧、芝刈高などにより異なります)	

【欧州登録保証値】	21-5-6	
窒素全量	21.0%
内アンモニア性窒素	1.3%
尿素	19.7%
りん酸 (P ₂ O ₅)	5.0 %
内水溶性りん酸	3.7 %
加里 (K ₂ O)	6.0 %
内水溶性加里	5.0 %
カルシウム (CaO)	2.5 %
内水溶性カルシウム	1.8 %
マグネシウム(MgO)	2.5 %
内水溶性マグネシウム	2.0 %
イオウ(S)	10.0 %
全窒素の25%がコーティングされた窒素		

【特長】

1. ゴルフ場のフェアウェイ(コウライ・洋芝など)、ラフ、アプローチ、ティー、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 全窒素の25%が「ポリSコーティング」による緩効性肥料で、窒素の溶出が2～3ヶ月持続します。
3. 速効性の尿素とアンモニア態窒素を含む為、施肥直後の葉色を濃くし、生育を促進させます。
4. カルシウムを2.5%含み、芝生を硬く強くします。
5. マグネシウムを2.5%含み、葉色を鮮やかにします。
6. 臭いは少なくサラッとした肥料で施肥後もべとつかず、ゴルフや他の競技への影響が少ない肥料です。



【使用方法】

1. 施肥は、肥料散布機をご使用のうえ、芝生の上に均一にばらまいてください。
2. 乾いた葉へ施肥してください。
3. 施肥後に散水すると、より早い肥料効果が得られると共に、足跡が着くリスクを少なくします。
4. 凍りつくような厳寒期や高温干ばつ期の施肥は避けてください。
5. 肥料の割れを防ぐため、施肥直後のエアレーション、コアリング、スライシングなどの作業は行わないでください。

【施肥をおすすめする時期】 芝生の生育期間中の標準肥料としてお勧め。

春	梅雨	夏	秋	冬
◎	◎ コウライ・野芝・ティフトン	○ コウライ・野芝・ティフトン	◎	

【施肥量】 ■芝生の上へ均一にばらまいてください。肥料散布機の使用をおすすめします。※欧州登録保証値を基準にしています。

	施肥量 (m ² 当り)	成分量(m ² 当り)			1袋当りの 施肥面積
		窒素	りん酸	カリ	
少量施肥量	15.0g	3.15g	0.75g	0.90g	1,666m ²
少量施肥量	17.5g	3.67g	0.87g	1.05g	1,428m ²
推奨施肥量	20.0g	4.20g	1.00g	1.20g	1,250m ²
推奨施肥量	25.0g	5.25g	1.25g	1.50g	1,000m ²
増量施肥量	30.0g	6.30g	1.50g	1.80g	833m ²
増量施肥量	35.0g	7.35g	1.75g	2.10g	714m ²

注意: 少量施肥量で施肥する場合、粒ムラが発生する可能性がありますので一度お試しのうえご使用ください。

施肥量は、芝生の種類、生育状態、気象条件、土壌、灌水方法などにより異なりますので、一つの目安としてお考えください。

施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。



粉末液肥 スポーツマスター

スプリング&サマー 28-5-19 + 微量元素

スポーツマスター液肥シリーズはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端の粉末液肥です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。

[登録保証値]		27-5-18
● 窒素全量	27.0 %
内 硝酸性窒素	5.5 %
内 アンモニア性窒素	1.0 %
● 水溶性りん酸	5.0 %
● 水溶性加里	18.0 %
● 水溶性マンガン	0.050 %
● 水溶性ホウ素	0.050 %

[欧州登録保証値]		28-5-19
窒素全量	28.0%
硝酸性窒素	5.6%
アンモニア性窒素	1.0%
尿索性窒素	21.4%
水溶性りん酸(P ₂ O ₅)	5.0 %
水溶性加里(K ₂ O)	19.0 %
水溶性マンガン	0.06 %
水溶性ホウ素	0.02 %
水溶性モリブデン	0.010 %
水溶性亜鉛	0.016 %
水溶性鉄	0.13 %
水溶性銅	0.016%

容量	15kg 袋入り
施肥面積	約3,000㎡～15,000㎡

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 窒素、リン酸、カリをはじめ各種微量元素(鉄、ホウ素、銅、マンガン、モリブデン、亜鉛)が芝生の生育に適するようバランス良く配合されており、液肥の標準肥料としてお勧めです。
また窒素成分は、尿素有配合割合が高いため葉面吸収に優れます。
3. 溶解性が高く、沈殿しにくいので散水ノズルの目詰まりも少なく作業性に優れています。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
* 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は1g～5gで、希釈液を1㎡当り60cc～1,000cc施用します。
1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
* 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は1.5～3.0gで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. 粉末液肥スポーツマスターは、ICL社の浸透剤「H2プロ」と混合できます。

[希釈方法]

1. 予め原液を作って肥料を完全に溶かします。原液は5倍以上で希釈すると溶けやすくなります。
水温が低いと肥料が解けにくい場合がありますが、ぬるま湯で溶かすと容易に解けます。
2. タンク内で原液と水を混合して使用濃度に調整します。

[施用量] 根から吸収させる施肥 欧州登録値の窒素成分28%で計算

1㎡当り 施肥量	1㎡当り 窒素成分量	1袋当り 施肥面積	1㎡当り 希釈液の散布量 60cc～1,000cc					
			60ccの場合		100ccの場合		500ccの場合	
			倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量
1g	0.28g	15,000㎡	60倍	16.6kg	100倍	10kg	500倍	2kg
2g	0.56g	7,500㎡	30倍	33.3kg	50倍	20kg	250倍	4kg
3g	0.84g	5,000㎡	20倍	50.0kg	33倍	30kg	166倍	6kg
4g	1.12g	3,750㎡	15倍	66.6kg	25倍	40kg	125倍	8kg
5g	1.40g	3,000㎡	12倍	83.3kg	20倍	50kg	100倍	10kg

表の見方: 窒素 0.56g/㎡を施肥するには、スポーツマスター スプリング&サマーが2g/㎡必要です。

希釈液 500cc/㎡施肥の場合、250倍に希釈します。

注意: 根から吸収させる施肥で、1㎡当り 60～100ccの少量水・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに十分な散水を行ってください(最低2～3分のスプリンクラー散水)。

施肥量は目安ですので、お試しのうえお使いください。





粉末液肥 スポーツマスター

ハイ N 35-0-14 + Fe

スポーツマスター液肥シリーズはICL社の「^{ティー マックス}TMAX技術」を採用した最先端の粉末液肥です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。

[登録保証値]			35-0-14
● 窒素全量		35.0 %
内 硝酸性窒素		4.2 %
内 アンモニア性窒素		1.0 %
● 水溶性加里		18.0 %

[欧州登録保証値]			35-0-14
窒素全量		35.0%
硝酸性窒素		4.3%
尿素性窒素		30.7%
水溶性加里(K ₂ O)		14.0 %
水溶性鉄		0.13 %

容量	15kg 袋入り
施肥面積	約3,750㎡～15,000㎡

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
窒素を多く含むため、窒素供給のコストが安い肥料です。
2. 葉面からの吸収に優れる尿素と根からの吸収効率が良い硝酸性窒素の両方を含んでいるため、
葉面及び根からの両面から窒素成分が素早く供給され、キレート鉄との相乗効果で、芝生の葉色
鮮やかにします。特に尿素的配合割合が高いため葉面吸収にも優れます。
3. リン酸を含まないので、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます。
4. 溶解性が高く、沈殿しにくいので散水ノズルの目詰まりも少なく作業性に優れています。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
* 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は1g～4gで、希釈液を1㎡当り60cc～1,000cc施用します。
1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
* 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は1.5～3.0gで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. 粉末液肥スポーツマスターは、ICL社の浸透剤「H2プロ」と混合できます。



[希釈方法]

1. 予め原液を作って肥料を完全に溶かします。原液は5倍以上で希釈すると溶けやすくなります。
水温が低いと肥料が解けにくい場合がありますが、ぬるま湯で溶かすと容易に解けます。
2. タンク内で原液と水を混合して使用濃度に調整します。

[施肥量] 根から吸収させる施肥 欧州登録値の窒素成分35%で計算

1㎡当り 施肥量	1㎡当り 窒素成分量	1袋当り 施肥面積	1㎡当り 希釈液の散布量 60cc～1,000cc					
			60ccの場合		100ccの場合		500ccの場合	
			倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量
1g	0.35g	15,000㎡	60倍	16.6kg	100倍	10kg	500倍	2kg
2g	0.70g	7,500㎡	30倍	33.3kg	50倍	20kg	250倍	4kg
3g	1.05g	5,000㎡	20倍	50.0kg	33倍	30kg	166倍	6kg
4g	1.40g	3,750㎡	15倍	66.6kg	25倍	40kg	125倍	8kg

表の見方: 窒素 0.7g/㎡を施肥するには、スポーツマスター「ハイ N」が2g/㎡必要です。

希釈液 500cc/㎡施肥の場合、250倍に希釈します。

注意: 根から吸収させる施肥で、1㎡当り 60～100ccの少量水・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を
促すために施用後直ぐに十分な散水を行なってください(最低2～3分のスプリンクラー散水)。

施肥量は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。



粉末液肥 スポーツマスター

ハイ K 15-0-43 + Fe

スポーツマスター液肥シリーズはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端の粉末液肥です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。

【登録保証値】	14.5-0-42	
● 窒素全量	14.5 %
内 硝酸性窒素	12.5 %
● 水溶性加里	18.0 %

【欧州登録保証値】	15-0-43	
窒素全量	15.0%
硝酸性窒素	12.7%
尿素性窒素	2.3%
水溶性加里(K ₂ O)	43.0 %
水溶性鉄	0.13 %

容量	15kg 袋入り
施肥面積	約3,00㎡～7,500㎡

【特長】

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 葉面からの吸収に優れる尿素と根からの吸収効率が良い硝酸性窒素の両方を含んでいるため、葉面及び根からの両面から窒素成分が素早く供給され、キレート鉄との相乗効果で、芝生の葉色を鮮やかにします。
特に硝酸性窒素の配合割合が高いため根からの吸収にも優れます。
また硝酸性窒素は曇天時や低温時でも芝生への吸収効率が高まります。
3. 窒素の約3倍多いカリ成分の働きにより、生長はコンパクトになり、丈夫で頑強な芝生に育ちます。
環境ストレスがかかる前の施肥がお勧めです(梅雨前、夏前、冬前)
4. リン酸を含まないので、芝地のリン酸値の高まりを防ぎます。
5. 溶解性が高く、沈殿しにくいので散水ノズルの目詰まりも少なく作業性に優れています。

【使用方法】

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
* 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は1g～5gで、希釈液を1㎡当り60cc～1,000cc施用します。
1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
* 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は1.5～3.0gで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. 粉末液肥スポーツマスターは、ICL社の浸透剤「H2プロ」と混合できます。

【希釈方法】

1. 予め原液を作って肥料を完全に溶かします。原液は5倍以上で希釈すると溶けやすくなります。
水温が低いと肥料が解けにくい場合がありますが、めるま湯で溶かすと容易に解けます。
2. タンク内で原液と水を混合して使用濃度に調整します。

【施用量】 根から吸収させる施肥 欧州登録値の窒素成分15%で計算

1㎡当り 施肥量	1㎡当り 窒素成分量	1袋当り 施肥面積	1㎡当り 希釈液の散布量 60cc～1,000cc					
			60ccの場合		100ccの場合		500ccの場合	
			倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量
2g	0.30g	7,500㎡	30倍	33.3kg	50倍	20kg	250倍	4kg
3g	0.45g	5,000㎡	20倍	50.0kg	33倍	30kg	166倍	6kg
4g	0.60g	3,750㎡	15倍	66.6kg	25倍	40kg	125倍	8kg
5g	0.75g	3,000㎡	12倍	83.3kg	20倍	50kg	100倍	10kg

表の見方: 窒素 0.45g/㎡を施肥するには、スポーツマスター「ハイ K」が3g/㎡必要です。

希釈液 500cc/㎡施肥の場合、166 倍に希釈します。

注意: 根から吸収させる施肥で、1㎡当り 60～100cc の少量水・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに十分な散水を行なってください(最低2～3分のスプリンクラー散水)。

施肥量は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。





粉末液肥 スポーツマスター

シーマックス(海藻) 4-0-15

スポーツマスター液肥シリーズはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端の粉末液肥です。浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。

[登録保証値]			4-0-15
● 窒素全量		4.0 %
内 アンモニア性窒素		3.5 %
● 加里全量		15.0 %
内 水溶性加里		6.0 %

容量	1kg 袋 (8袋入り/ケース)
施肥面積 (1kg)	約5,000㎡～10,000㎡

[欧州登録保証値]			4-0-15
窒素全量		4.0%
アンモニア性窒素		4.0%
水溶性加里(K ₂ O)		15.0%
水溶性マンガ		0.06 %
水溶性ホウ素		0.02 %
水溶性モリブデン		0.010 %
水溶性亜鉛		0.016 %
水溶性鉄		0.13 %
水溶性銅		0.016%

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティーや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 「シーマックス」はアスコフィラム・ノドサムという特殊な海藻を使用している為、各種アミノ酸、アルギン酸、糖類、ビタミン、微量元素、植物ホルモンなどを豊富に含んでいます。根の伸長促進、高温時などのストレス抵抗性を高める効果があります。
3. 海藻の各成分が損なわれないよう特殊な抽出をしている共に、75%が海藻由来から出来ている為海藻の有効成分が多く含まれています。
4. 土壌微生物を増やし、根の発育のために健全な土壌条件を提供します。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
 - * 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は0.1g～0.2gで、希釈液を1㎡当り60cc～1,000cc施用します。
 - * 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は0.1g～0.2gで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。肥効期間は2～4週間です(環境によって異なります)霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. 土壌浸透剤の「H2プロ」や液肥との混合使用はお勧めです。
4. ICL社の「カルシウム ブースター」「Fe6.3」や他社の鉄剤と混合はしないでください。
pHの影響で製品が固まる事があります。



海藻原料
アスコフィラム・ノドサム

[希釈方法]

1. タンクに目標水量の約80%の水を加えます。
2. タンクの投入口のフィルターの網は外してください。「シーマックス」が網に詰まらなくする為です。
3. 攪拌機などで必ず水を攪拌しながら「シーマックス」を少しずつゆっくり投入して溶かします。
水を攪拌せずに一度に投入すると、玉が発生し易くなり、溶解時間が長くなります。

[施肥量] 根から吸収させる施肥 欧州登録値の窒素成分%で計算

1㎡当り 施用量	1㎡当り N成分量	10% ボトル当り 施用面積	1㎡当り 希釈液の散布量							
			葉面散布				根から吸収			
			40cc		60cc		100cc		500cc	
			倍率	1,000 % タンク混合量	倍率	1,000 % タンク混合量	倍率	1,000 % タンク混合量	倍率	1,000 % タンク混合量
0.1g	0.004g	10,000 ㎡	400倍	2.5kg	600倍	1.6kg	1,000倍	1.0kg	5,000倍	0.2kg
0.2g	0.008g	5,000 ㎡	200倍	5.0kg	300倍	3.2kg	500倍	2.0kg	2,500倍	0.4kg

注意: 根から吸収させる施肥で、1㎡当り 60～100cc の少水量・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに十分な散水を行なってください(最低2～3分のスプリンクラー散水)。
施肥量は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。



液肥 グリーンマスターリキッド

リキッドスプリング&サマー 12-4-6 + 微量元素

グリーンマスターリキッドはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端のリキッド(原液)タイプの液肥です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。

[登録保証値]	11-5-5	
● 窒素全量	11.0 %
● 水溶性りん酸	5.0 %
● 水溶性加里	5.0 %
● 水溶性マンガン	0.005 %
● 水溶性ホウ素	0.005 %

容量(ケース)	20 ㍓ケース入り(10 ㍓ ×2 本)
施肥面積(10 ㍓)	約5,000㎡~10,000㎡
比重(kg / ㍓)	1.18

[欧州登録保証値]	12-4-6	
窒素全量	12.0 %
尿素性窒素	11.2 %
水溶性りん酸(P ₂ O ₅)	4.0 %
水溶性加里(K ₂ O)	6.0 %
水溶性マンガン	0.01 %
水溶性ホウ素	0.01 %
水溶性モリブデン	0.001 %
水溶性亜鉛	0.004 %
水溶性銅	0.004 %

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティー、フェアウェイや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 芝生にバランスの良い窒素、リン酸、カリの成分比で、芝生の生育期間中、標準肥料として使用できます。
窒素成分は、尿素的配合割合が高いため葉面吸収にも優れます。
3. 各種微量元素(マンガン、ホウ素、モリブデン、亜鉛、銅)が、芝生のストレスからの回復を助け健全な生育を促します。
4. リキッド(原液)タイプなので水に容易に希釈できます。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
* 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は2~10ccで、希釈液を1㎡当り60cc~1,000cc施用します。
1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
* 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は2~10ccで、希釈液を1㎡当り30cc~60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. ICL社の土壌浸透剤「H2プロ」と混合できます。
4. ICL社の「スポーツマスター」の各粉末液肥や「グリーンマスターリキッド」の各種と混合できます。
(注: カルシウムブースターとは混合できません)



10 ㍓(11.8kg)

[施肥量] 欧州登録値の窒素成分12%で計算(比重 1.18)

1㎡当り 施用量	1㎡当り N成分量	10㍓ ボトル当り 施用面積	1㎡当り 希釈液の散布量							
			葉面散布		根から吸収					
			40cc		60cc		100cc		500cc	
			倍率	1,000㍓ タンク混合 量	倍率	1,000㍓ タンク混合 量	倍率	1,000㍓ タンク混合 量	倍率	1,000㍓ タンク混合 量
2cc	0.28g	5,000 ㎡	20倍	50.0㍓	30倍	33.3㍓	50倍	20.0㍓	250倍	2.0㍓
4cc	0.56g	2,500 ㎡	10倍	100.0㍓	15倍	66.6㍓	25倍	40.0㍓	125倍	4.0㍓
8cc	1.13g	1,250 ㎡	5倍	200.0㍓	7.5倍	133.3㍓	12.5倍	80.0㍓	62.5倍	16.0㍓
10cc	1.41g	1,000 ㎡	4倍	250.0㍓	6倍	166.6㍓	10倍	100.0㍓	50倍	20.0㍓

表の見方: 窒素0.56g/㎡を施肥するには、「リキッド スプリング&サマー」の原液が4cc/㎡必要です。

希釈液500cc/㎡施肥の場合、125倍に希釈します。

注意: 1㎡当り 60cc の少量水・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに十分な散水を行ってください(特に高温時や乾燥が激しい時期。最低2~3分のスプリンクラー散水)
施肥量は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。



液肥 グリーンマスターリキッド

リキッド ハイ N 25-0-0 + 2MgO + 微量元素

グリーンマスターリキッドはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端のリキッド(原液)タイプの液肥です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。

[登録保証値]		24-0-0
● 窒素全量	24.0 %
内 硝酸性窒素	7.0 %
内 アンモニア態窒素	5.5 %
● 水溶性苦土	0.5 %

容量(ケース)	20 ㍓ケース入り(10 ㍓ ×2 本)
施肥面積(10 ㍓)	約1,000㎡～10,000㎡
比重(kg / ㍓)	1.31

[欧州登録保証値]		25-0-0
窒素全量	25.0 %
硝酸性窒素	7.3 %
アンモニア性窒素	5.9 %
尿素性窒素	11.8 %
水溶性マグネシウム	2.0 %
水溶性マンガン	0.010 %
水溶性ホウ素	0.01 %
水溶性モリブデン	0.001 %
水溶性亜鉛	0.004 %
水溶性銅	0.004 %

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティー、フェアウェイや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 窒素とマグネシウムを多く含むため、葉色をすばやく鮮やかにします。
窒素成分は、尿素的の配合割合が高いため葉面吸収にも優れます。
3. 各種微量元素(マグネシウム、マンガン、ホウ素、モリブデン、亜鉛、銅)が、芝生のストレスからの回復を助け健全な生育を促します。
4. リキッド(原液)タイプなので水に容易に希釈できます。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
* 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は1～10ccで、希釈液を1㎡当り60cc～1,000cc施用します。
1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
* 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は1～10ccで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. ICL社の土壌浸透剤「H2プロ」と混合できます。
4. ICL社の「スポーツマスター」の各粉末液肥や「グリーンマスターリキッド」の各種と混合できます。
(注:カルシウムブースターとは混合できません)



10 ㍓(13.1kg)

[施用量] 欧州登録値の窒素成分25%で計算(比重 1.31)

1㎡当り 施用量	1㎡当り N成分 量	10㍓ ボトル当り 施用面積	1㎡当り 希釈液の散布量							
			葉面散布		根から吸収					
			40cc		60cc		100cc		500cc	
			倍率	1,000 ㍓ タンク混合量	倍率	1,000 ㍓ タンク混合量	倍率	1,000 ㍓ タンク混合量	倍率	1,000 ㍓ タンク混合量
1cc	0.3g	10,000 ㎡	40倍	25.0㍓	60倍	16.6㍓	100倍	10.0㍓	500倍	2.0㍓
2cc	0.6g	5,000 ㎡	20倍	50.0㍓	30倍	33.3㍓	50倍	20.0㍓	250倍	4.0㍓
5cc	1.6g	2,000 ㎡	8倍	125.0㍓	12倍	83.3㍓	20倍	50.0㍓	100倍	10.0㍓
10cc	3.2g	1,000 ㎡	4倍	250.0㍓	6倍	166.6㍓	10倍	100.0㍓	50倍	20.0㍓

表の見方: 窒素0.6g/㎡を施肥するには、「リキッド ハイ N」の原液が2cc/㎡必要です。

希釈液500cc/㎡施肥の場合、250倍に希釈します。

注意: 1㎡当り 60cc の少量・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに十分な散水を行ってください(特に高温時や乾燥が激しい時期。最低2～3分のスプリンクラー散水)
施肥量は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。



グリーンマスターリキッド Fe 6.3

グリーンマスターリキッドはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端のリキッド(原液)タイプの液剤です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。鉄の補給にお勧めです。

容量(ケース)	20 ℓ/ケース入り(10 ℓ ×2 本)
施肥面積(10 ℓ)	約3,333㎡～10,000㎡
比重(kg / ℓ)	1.25
成分 水溶性鉄 6.3%
内キレート鉄(EDTA) 1.3%

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティー、フェアウェイや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 施用後、3時間以内に葉色を向上させ、その効果は2～6週間持続します。
3. 無駄な生育をさせずに葉色を向上させ、健全な生育を促します。
4. ICL社のグリーン用メチレン尿素入り肥料や土壌浸透剤の「H2プロ」との併用で丈夫な芝生を育てることによって病気の発生を軽減させます。
5. 鉄欠乏によるクロロシス(黄化)を防ぎます。
6. 酸性土壌での使用で更に pH を下げる事はありません。
7. リキッド(原液)タイプなので水に容易に希釈できます。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
 - * 根から吸収させる場合
1㎡当りの施用量は1～3ccで、希釈液を1㎡当り60cc～500cc施用します。
 - * 葉面散布の場合
1㎡当りの施用量は1～3ccで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. ICL 社の土壌浸透剤「H2プロ」と混合できます。



10 ℓ(12.5kg)

[施用量]

1㎡当り 施用量	10ℓ ボトル当り 施用面積	1㎡当り 希釈液の散布量							
		葉面散布		根から吸収					
		40cc		60cc		100cc		500cc	
		倍率	1,000 ℓ タンク混合量	倍率	1,000 ℓ タンク混合量	倍率	1,000 ℓ タンク混合量	倍率	1,000 ℓ タンク混合量
1cc	10,000 ㎡	40倍	25.0ℓ	60倍	16.6ℓ	100倍	10.0ℓ	500倍	2.0ℓ
2cc	5,000 ㎡	20倍	50.0ℓ	30倍	33.3ℓ	50倍	20.0ℓ	250倍	4.0ℓ
3cc	3,333 ㎡	13.3倍	75.0ℓ	20倍	50.0ℓ	33.3倍	30.0ℓ	166.6倍	6.0ℓ

注意: 施用量は目安ですので、お試しのうえ、葉色を確認してからお使いください。

農薬との混合は、必ずお試しのうえ、安全をご確認してからお使いください



液肥 グリーンマスターリキッド カルシウム ブースター 8-0-0 + 9CaO + 微量元素

グリーンマスターリキッドはICL社の「TMAX技術」を採用した最先端のリキッド(原液)タイプの液肥です。
浸透剤やキレート剤などが含まれるため、葉面散布では葉面からの養分浸透性を高め、土中では栄養分の有効性を高め、根から養分を効率よく吸収できます。カルシウムの補給にお勧めです。

[登録保証値]			9-0-0
● 窒素全量	11.0	%
内 硝酸性窒素	7.5	%
内 アンモニア態窒素	1.5	%

[欧州登録保証値]			8-0-0
窒素全量	8.0	%
硝酸性窒素	7.0	%
アンモニア性窒素	1.0	%
水溶性カルシウム(CaO)	9.0	%
水溶性マンガン	0.01	%
水溶性ホウ素	0.01	%
水溶性モリブデン	0.001	%
水溶性亜鉛	0.004	%
水溶性銅	0.004	%

容量(ケース)	20 ㍓ケース入り(10 ㍓ × 2 本)
施肥面積(10 ㍓)	約5,000㎡～1,666㎡
比重(kg / ㍓)	1.32

[特長]

1. ゴルフ場のグリーン、ティー、フェアウェイや、競技場、校庭緑化、公園緑地などの芝生にお使いいただけます。
2. 芝生の生育期間中、いつでも使用できますが、芝生の生育が始まる春の施肥は特にお勧めです。
3. 水溶性カルシウムの働きにより、芝生体内での生理的作用促進と、細胞壁が強化されます。
また、土壌の塩基バランスを維持且つ改善し、根の伸長を助けます。
4. 硝酸性窒素とアンモニア性窒素の作用で葉色を素早く鮮やかにします。
5. カルシウムと共に各種微量元素(マンガン、ホウ素、モリブデン、亜鉛、銅)が、芝生のストレスからの回復を助け健全な生育を促します。
6. リキッド(原液)タイプなので水に容易に希釈できます。

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
* 根から吸収させる場合
1㎡当りの施肥量は2～6ccで、希釈液を1㎡当り60cc～500cc施用します。
* 葉面散布の場合
1㎡当りの施肥量は2～6ccで、希釈液を1㎡当り30cc～60cc噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。
3. ICL 社の土壌浸透剤「H2プロ」と混合できます。
4. 「カルシウムブースター」は、液肥、鉄剤、土壌浸透剤や農薬など他の製品と混合できません。



10 ㍓(13.2kg)

[施用量] 欧州登録値の窒素成分8%で計算(比重 1.32)

1㎡当り 施用量	1㎡当り 成分量 g/㎡		10㍓ ボトル当り 施用面積	1㎡当り 希釈液の散布量							
				葉面散布		根から吸収					
				40cc		60cc		100cc		500cc	
				倍率	1,000 ㍓ タンク混合 量	倍率	1,000 ㍓ タンク混合 量	倍率	1,000 ㍓ タンク混合 量	倍率	1,000 ㍓ タンク混合 量
2cc	0.21	0.23	5,000 ㎡	20倍	50.0㍓	30倍	33.3㍓	50倍	20.0㍓	250倍	4.0㍓
4cc	0.42	0.47	2,500 ㎡	10倍	100.0㍓	15倍	66.6㍓	25倍	40.0㍓	125倍	8.0㍓
6cc	0.63	0.71	1,666 ㎡	6.6倍	151.5㍓	10倍	100.0㍓	16.6倍	60.2㍓	83.3倍	12.0㍓

表の見方: 窒素0.42g/㎡、カルシウム0.47g/㎡を施肥するには、「カルシウム ブースター」の原液が4cc/㎡必要です。希釈液500cc/㎡施肥の場合、125倍に希釈します。

注意: 1㎡当り 60cc の少量・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに十分な散水を行なってください(特に高温時や乾燥が激しい時期。最低2～3分のスプリンクラー散水)
施肥量は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。



土壌浸透剤 H2プロ リキッド

H2プロは新しいタイプの土壌浸透剤です。

過去の土壌浸透剤は主に地表近くの効果だったのに対し、H2プロは施用した水を効果的に深く浸透させます。

有機層、ドライスポット部分にも浸透し保水性を保ちます。

土壌水分が多すぎる場合、余剰水分を排水させる効果もあり、芝生の根域の土壌水分を安定する事によって芝生を健全に生育させる共に、散水量を軽減させる働きがあります。

容量 20ℓ ケース入り (5ℓ × 4本)

使用量 原液 1.0ml～5.0ml / m²

20ℓ 当たり使用面積

1.0ml 20,000 m² (毎月施用)

2.5ml 8,000 m² (隔月施用)

5.0ml 4,000 m² (年 1 回施用)

効果期間 1～6ヶ月

(施用量、環境要因によりこととなります)



[特長]

1. 液体の土壌浸透剤です。ゴルフ場のグリーン、ティー、フェアウェイや、競技場、校庭緑化、公園緑地などにお使いいただけます。
2. ドライスポットの予防、改善に効果があります。
3. 適正な土壌水分が保持され易くなり、灌水量・灌水作業の軽減につながります。
4. 保水性と共に排水させる効果もあり、根域が乾いている時は長期間保水され、雨や散水が多過ぎる場合は土壌の保水能力を超えて保水することがありません。(物理的に排水性が悪い場合を除きます)。
5. 水を深く浸透させる為、根域が深く、広くなる効果があります。
「スポーツマスター液肥」「ピーターズ液肥」や「グリーンマスターリキッドFe」など、ICL社の液体製品と混合できます。

[使用方法]

1. 施肥プログラムに組み入れる事でH2プロの効果が発揮し易くなります。
2. 芝生が生育するシーズン前の施用は更に効果的です。
3. 水に希釈して使用します。施用は一般的なスプレーヤーで行ないます。
灌水インジェクションのユニットや、自動希釈混入機のどちらかで施用できます。
4. 施用後の散水は土壌内への浸透を助け、より効果的です。
エアレイション、スライシング、バーチカルなどの後の施用は、より浸透し易くなります。

[施用をおすすめする時期]

春	梅雨前	夏	秋	冬
◎	◎	◎	◎	—

[施用量] 原液 1.0ml～5.0ml/m² 水に希釈して使用します

施用量(原液)		
毎月施用	隔月施用	年施用
2.5ml(年の初回)～1.0ml/m ²	2.5ml/m ²	5.0ml/m ²
施用水量 * 高濃度処理 60～90ml/m ² 倍率 2.5ml 24 倍～36 倍 1.0ml 60 倍～90 倍 * 一般処理 100～500ml/m ²		施用水量 * 高濃度処理 200ml/m ² * 一般処理 200～1,000ml/m ² 使用前に軽く散水します。 施用直後に5～10分の散水を2回、必ず行なってください。

注意:

- ・施用水量が 60～100cc の少量施用の場合、施用後に散水をしてH2プロを土壌に落としてください。
- ・夏季の高温時の施用は、施用水量を 200cc 以上にし、施用後に十分散水して下さい。
- ・ICL社の液肥との混合が可能です。
他社の液肥や農薬との混合は芝生ナーセリー等でお試しのうえ安全をご確認してからご使用ください。

**アキュプロ 2000 ロータリースプレッダー
施肥目盛一覧表**

肥料名	コーン	施肥目盛り(1㎡当り)									散布幅
		2.5g	5.0g	7.5g	10g	12.5g	15g	20g	25g	30g	
GTグリーンズ	6	—	—	—	I1/2	J1/2	K	L	M	M1/2	3.7m
GT N・K		—	—	—							
GTハイKグリーン		—	—	—							
GTスーパーグリーン		—	—	—							
GTスターター		—	—	—							
GT Kステップ	7	—	—	—	I1/2	J1/2	K	L	M	M1/2	4.3m
ステップ ハイマグ		G1/2	H	I	I1/2		K1/2				
肥料名	コーン	施肥目盛り(1㎡当り)									散布幅
		10.0g	12.5g	15.0g	17.5g	20.0g	25.0g	30.0g	35.0g	40.0g	
SBポリSウレア	4	—	M	N	O	O1/2	Q	R1/2	T1/2	V	4.7m
SBポリS細粒	4	—	L	M	M1/2	—	O	P	R	—	4.8m
ポリSプロターフ	6	K1/2	L	M	N	N1/2	O1/2	P	Q1/2		5.0m

目盛の合わせ方 例、I 1/2 … IとJの間に合わせてください。

【注意】

- *施肥目盛、散布幅は、作業速度が毎分80m(時速 4.8km)を基準にしています。
- *2回散布の場合は、散布幅を1/2にして散布する事をお勧めします。
- *施肥量を正確に散布していただくために、散布前に目盛が調整(E 調整)されているかご確認ください。
- *必ず散布量、散布幅をご確認の上、使用してください。
- *ご使用前に使用説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

上記の施肥目盛、コーン目盛が変更される場合があります

